

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防運営事業

【 消防総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 職員の健康管理、事務の効率化、各団体との情報交換等を実施し、消防業務の円滑化を図るため。

効果 職員の元気回復・体力増進、消防業務の効率化を図り、県、国レベルでの災害応援要請等があった場合の活動体制を確立し、迅速な活動を目指すとともに各自治町内会、企業等、地域ぐるみの市民等の防火防災意識を深めることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 旅費、各署所の光熱水費、負担金等の執行、寝具類の賃借及び職員への被服の貸与など消防に係る一般事務を行った。
- ・ 職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画し実施した。
- ・ 消防出初式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、実施を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,448	58,456	53,148		5,308
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	消防出初式参加団体等報償費	120	0	
	消防職員大型運転免許資格取得奨励金	800	784	
	職員研修講師謝礼	20	0	
9節	普通旅費	400	417	
	研修旅費	826	364	
10節	消防本部交際費	100	5	
11節	消耗品費	1,869	1,914	
	緊急消防援助隊食糧費	59	80	
	印刷製本費	24	25	
	光熱水費	23,670	22,179	
	被服費	14,402	16,604	
12節	廃棄物運搬手数料等	256	255	
	消防業務賠償責任等保険料	409	389	
13節	消防職員採用試験委託料	500	119	
	職員福利厚生に係る事業委託料	4,128	2,809	
	産業廃棄物処理委託料	229	229	
14節	LED照明機器賃借料	624	624	
	寝具類賃借料	3,140	3,058	
	NHK放送受信料等	450	266	
19節	神奈川県消防学校初任教育等負担金	2,426	2,421	
	消防大学校負担金	429	65	
	全国消防長会等負担金	567	541	

<主な特定財源>

・国県支出金

426

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防施設管理事業

【 消防総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 防災・安全
施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。

効果 災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

【 事業の内容 】

・各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,487	35,487	35,265		222
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	各署所維持修繕料		8,924	8,856
	腰越出張所外壁修繕料		9,372	9,229
	今泉出張所屋上修繕料		3,563	3,553
12節	自家用電気工作物保安管理業務手数料		828	828
	非常用自家発電機定期点検等手数料		209	209
	消防用設備保守点検手数料		364	364
13節	庁舎清掃管理業務委託料		12,162	12,161
	ガスヒーポン保守業務委託料		65	65

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

警防活動事業

【 警防救急課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 消防職員の技術の向上を図り、各種災害に即時対応できるよう機材の維持管理をするため。

効果 組織全体のレベルアップ・事故の絶無を目指し、市民を災害から守る。

【 事業の内容 】

- ・ 警防活動に必要な備品の整備、機器の保守点検等を行うとともに、消防学校に職員を出向させ、技術の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,049	32,002	30,386		1,616
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	防火水槽土地借用謝礼(40件)		120	117
9節	研修旅費		72	6
11節	消耗品費		2,527	2,297
	消防車両燃料費		9,000	9,337
	被服費		7,284	7,216
	消防車両修繕料		7,787	6,936
12節	空気ボンベ耐圧検査等手数料		1,016	1,016
	消防自動車等任意保険料		1,177	1,113
13節	はしご車梯体点検委託料		407	385
	PFOS(界面活性剤)含有泡消火薬剤処分委託料		261	277
14節	高速道路等使用料		150	49
18節	空気呼吸器用ボンベ備品購入費		383	383
19節	神奈川県消防学校専科教育等負担金		381	340
22節	自動車事故賠償金		500	0
27節	自動車重量税		984	914

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

救急活動事業

【 警防救急課 】

※重点事業(事業CD:5-1-3-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 救急救命士を含む救急隊員

意図 救急体制の充実を図るため。

効果 市民の救命率の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 救急救命士及び救急隊員を養成し、救急体制の充実を図るとともに、市民を対象に普通救命講習等を実施し、市民の救命率の向上を目指した。
- ・ 救命率の向上を図るため自動体外式除細動器(AED)を公共施設等に引き続き配置した。
- ・ 救急隊員へ活動支援ロボットを引き続き配備し、腰痛を起因とする公務災害発生を防止した。
- ・ 救急隊員の新型コロナウイルス感染防止として、感染防止衣上下、滅菌線ロッカー及び自動心肺蘇生器一式を導入した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,617	66,452	62,668		3,784
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節	研修旅費		329	106
11節	消耗品費		3,119	3,119
	印刷製本費		48	48
	被服費		7,920	7,529
	医薬材料費		4,007	4,007
12節	救急救命士国家試験等手数料		219	163
13節	救急車搭載機器点検委託料		1,587	1,587
	特別産業廃棄物(感染性)収集・運搬・処理委託料		481	446
	メディカルコントロール指示等委託料		437	437
	救急救命士再教育委託料		856	840
	救急救命士就業前研修委託料		320	320
	ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管実習委託料		100	80
	救急救命士気管挿管実習委託料		300	300
14節	AED賃借料(消防車両10台、公共施設78台、屋外ボックス6台)		3,369	3,369
	AED賃借料(コンビニエンスストア59台)		2,829	2,829
	活動支援ロボット賃借料		2,204	2,203
18節	滅菌線ロッカー備品購入費		2,640	2,068
	自動心肺蘇生器一式備品購入費		0	25,846
19節	神奈川県消防学校専科教育負担金		591	584
	神奈川県消防学校救急救命特別教育負担金		3	0
	三浦半島地区メディカルコントロール協議会負担金		940	940
	救急救命士養成研修負担金		6,318	5,847
<主な特定財源>				
	・国県支出金			35,041

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

指令活動事業

【 指令情報課 】

※重点事業(事業CD:5-1-3-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等を各種災害から保護するため。

効果 災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・市民等から各種災害通報を受信し、災害規模や種別に応じた消防・救急隊を選定し出動指令を行った。
- ・消防・救急活動を円滑に遂行するための支援業務及び関係機関との連携のための情報伝達業務を行った。
- ・消防救急無線のデジタル化について、共通波の管理・運用を県及び県内市町と共同で行うとともに活動波の管理・運用を行った。
- ・備品修繕料のうち、高機能消防指令センターの有寿命部品交換修繕について、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
80,073	80,073	60,119	9,174	10,780
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
9節	研修旅費	7	0	
11節	消耗品費	1,964	1,920	
	備品修繕料(翌年度への繰越明許費)	13,715	3,322	
12節	指令専用回線等電信料	12,151	11,668	
	無線局免許申請手数料	7	7	
13節	活動波保守委託料	14,068	14,068	
	高機能消防指令センター保守点検委託料	31,232	22,211	
	共通波保守委託料	3,301	3,301	
	119番通報に係る電話通訳業務委託料	264	264	
14節	NET119緊急通報システム利用料等	930	929	
19節	災害緊急情報鎌倉エフエム負担金	1,992	1,992	
	共通波運用管理等負担金	442	437	

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

予防活動事業

【 予防課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消防法令に基づき火災の予防及び火災時の的確な対応を確保し、立入検査により火災危険要因を排除するため。

効果 火災件数、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。

【 事業の内容 】

- ・火災予防の指導・広報、火気使用設備・器具等の設置についての審査、危険物製造所等の設置等の許認可等を行った。
- ・火災予防など消防全般に対する相談の受付、事業所等に対する防火管理に関する指導、火災原因及び損害調査を実施した。年度査察計画に基づく査察は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、一部を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
982	982	964		18
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	消防協力者報償費		25	20
9節	研修旅費		11	6
11節	消耗品費		832	831
	印刷製本費		53	47
19節	神奈川県消防学校専科教育負担金		61	60

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 消防総務課 】

【 対象となる職員 】

消防本部・鎌倉消防署・大船消防署

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	2,280,195	2,206,258
・ 2節 給料 一般職	870,847	863,738
消防職職員 245人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	1,080,345	1,013,721
扶養手当	39,143	39,876
地域手当	138,825	137,839
通勤手当	20,261	19,079
超過勤務手当	60,341	59,424
休日給	94,288	92,323
夜勤手当	0	634
管理職手当	15,476	15,311
特殊勤務手当	9,000	11,101
期末勤勉手当	396,071	377,696
住居手当	38,312	33,993
退職手当	243,273	201,179
管理職員特別勤務手当	1,680	1,521
児童手当	23,675	23,745
・ 4節 共済費	329,003	328,799
市町村職員共済組合負担金	328,930	328,791
雇用保険料	73	8

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【 消防総務課 】

【 対象となる職員 】
消防本部消防総務課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,795	1,071
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	1,096	848
・ 3節 職員手当等 期末手当	233	170
・ 4節 共済費	322	0
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	53

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 10 非常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防団運営事業

【 消防総務課 】

※重点事業(事業CD:5-1-3-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防団員等

意図 消防団の装備、資機材及び消防団の運営活動の充実強化を図り、消防使命の達成に資するため。

効果 消防団及び消防団員の充実強化を図り、消防団員が安心できる消防団活動を行うことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 消防団員への報酬の支払い、分団器具置場及び分団車両の維持修繕、消防団の装備の充実を図った。
- ・ 消防団員の出勤費用弁償等、消防団の活動に係る経費を支出した。
- ・ 消防団事業計画に基づく、団員の教育訓練研修、各市町との情報交換、消防機材及び器具置場の維持管理など、本団・分団事業に要する経費を交付金として助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
73,370	73,370	61,323		12,047
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消防団員報酬 406人		15,065	13,824
4節	消防団員等公務災害補償等共済基金		1,466	1,442
5節	消防団員公務災害補償費		50	0
8節	消防団員退職報償費		12,000	5,510
	年未年始特別警備報償費		528	487
	優良団員等報償費		166	140
9節	消防団員出勤費用弁償		16,000	12,777
10節	消防団交際費		10	0
11節	消耗品費		730	454
	燃料費		475	403
	印刷製本費		14	0
	被服費		5,390	5,349
	分団器具置場各所修繕料		823	705
	車両修繕料		1,655	1,564
12節	IP無線機電信料		212	211
	自動車等保険料		520	498
13節	浄化槽保守点検及び清掃委託料		40	39
14節	分団器具置場土地等賃借料		378	371
19節	神奈川県消防協会負担金		1,505	1,505
	消防団員退職報償金負担金		8,448	8,448
	消防団員研修負担金		672	528
	鎌倉市消防団維持費交付金		6,831	6,677
27節	消防団車両公課費		392	391

<主な特定財源>
・国県支出金

426

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 15 消防施設費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消火栓管理事業

【 警防救急課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 防災・安全
施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防水利

意図 火災等に対応するための水利の確保を行うため。

効果 市民を火災等から守る。

【 事業の内容 】

- ・ 水道事業者が行う配水管の新設がなかったため、消火栓の新設は実施していない。
- ・ 水道法の規定に基づき、消火栓の維持管理に要する経費を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,200	6,200	5,868		332
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	消火栓路面焼付標示委託料		339	339
22節	消火栓維持管理等補償料		5,861	5,529

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 15 消防施設費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

車両購入事業

【 警防救急課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 最新鋭の車両に更新し、火災等各種災害に対応できるようにするため。

効果 市民を災害から守る。

【 事業の内容 】

- ・各種緊急自動車の計画的な更新を行った。
- ・小型動力ポンプ付き積載車(第11・29分団)及び災害対応多目的車(2台)については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額																																																																	
132,922	129,961	93,700	30,138	6,123																																																																	
<支出内訳>																																																																					
			当初予算額	支出済額																																																																	
11節	消耗品費		0	1,336																																																																	
12節	自動車リサイクル等手数料(翌年度への繰越明許費)		66	32																																																																	
	自動車自賠責保険料(翌年度への繰越明許費)		63	29																																																																	
18節	小型水難救助艇+トレーラー購入費		3,866	3,729																																																																	
	高規格救急自動車(腰越)購入費		38,956	32,308																																																																	
	小型動力ポンプ付き軽積載車購入費(第3分団)		9,160	8,910																																																																	
	消防ポンプ自動車(大船)購入費		48,257	47,300																																																																	
	小型動力ポンプ付き積載車購入費(第11・29分団)		25,809	0																																																																	
	(翌年度への繰越明許費)																																																																				
	災害対応多目的車購入費(2台)(翌年度への繰越明許費)		6,609	0																																																																	
27節	自動車重量税(翌年度への繰越明許費)		136	56																																																																	
<table border="1"> <tr> <td colspan="5">現有消防車両(令和4年(2022年)3月31日現在)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">常備消防分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はしご付き消防自動車</td> <td>2台</td> <td>広報車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学消防ポンプ自動車</td> <td>1台</td> <td>指揮車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水槽付消防ポンプ自動車</td> <td>1台</td> <td>支援車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>9台</td> <td>小型水難救助艇</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高規格救急自動車</td> <td>10台</td> <td>その他の車両</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>救助工作車</td> <td>2台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>トレーラー(小型水難救助艇積載)</td> <td>1台</td> <td>非常備消防分</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>査察車</td> <td>2台</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>28台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防災パトロール車</td> <td>1台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>防災搬送車</td> <td>2台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指令車(鎌倉消防署・大船消防署)</td> <td>2台</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					現有消防車両(令和4年(2022年)3月31日現在)					常備消防分						はしご付き消防自動車	2台	広報車	2台		化学消防ポンプ自動車	1台	指揮車	1台		水槽付消防ポンプ自動車	1台	支援車	1台		消防ポンプ自動車	9台	小型水難救助艇	1台		高規格救急自動車	10台	その他の車両	3台		救助工作車	2台				トレーラー(小型水難救助艇積載)	1台	非常備消防分			査察車	2台	小型動力ポンプ付積載車	28台		防災パトロール車	1台				防災搬送車	2台				指令車(鎌倉消防署・大船消防署)	2台		
現有消防車両(令和4年(2022年)3月31日現在)																																																																					
常備消防分																																																																					
	はしご付き消防自動車	2台	広報車	2台																																																																	
	化学消防ポンプ自動車	1台	指揮車	1台																																																																	
	水槽付消防ポンプ自動車	1台	支援車	1台																																																																	
	消防ポンプ自動車	9台	小型水難救助艇	1台																																																																	
	高規格救急自動車	10台	その他の車両	3台																																																																	
	救助工作車	2台																																																																			
	トレーラー(小型水難救助艇積載)	1台	非常備消防分																																																																		
	査察車	2台	小型動力ポンプ付積載車	28台																																																																	
	防災パトロール車	1台																																																																			
	防災搬送車	2台																																																																			
	指令車(鎌倉消防署・大船消防署)	2台																																																																			
<主な特定財源>																																																																					
	・国県支出金			16,664																																																																	
	・地方債			67,400																																																																	

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 5 教育委員会費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育委員会運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 教育委員

意図 教育の公平性、公正性を確保し、かつ透明性のある教育委員会の運営を行うため。

効果 教育行政の円滑な運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・教育行政の推進を図るため、教育委員会を開催した。
- ・教育行政諸課題について他市町村と情報交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,998	5,998	5,902		96
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 委員報酬 4人			5,856	5,856
9節 研修会等費用弁償			61	0
11節 印刷製本費			7	4
19節 神奈川県市町村教育委員会連合会等負担金			74	42

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

事務局運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 教育委員会事務局及び会計年度任用職員等

意図 教育委員会事務局及び教育機関の効果的・効率的な運営を行うため。

効果 教育行政の円滑な運営を行うとともに会計年度任用職員の活用により職員数の適正化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 学校施設管理・学校給食調理業務等に支障を来さぬよう、会計年度任用職員を配置した。
- ・ 教育行政諸課題について他市町村と情報交換を行った。
- ・ 事務局運営に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,984	8,984	6,735		2,249
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市教育委員会事務の点検・評価委員報酬 3人		102	102
8節	教育アドバイザー等謝礼		442	72
9節	会計年度任用職員費用弁償		186	77
	普通旅費		1,606	615
	研修旅費		318	14
10節	教育委員会交際費		80	21
11節	消耗品費		990	914
	教育長来客用食糧費		10	0
	車両修繕料		190	177
12節	筆耕翻訳料		330	213
	自賠償保険料		15	14
13節	産業廃棄物処理業務委託料		4,170	4,181
14節	電子マニフェスト利用料等		83	66
18節	文書送達用スクーター備品購入費		153	148
19節	神奈川県都市教育長協議会等負担金		309	121

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教職員運営事業

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 県費負担教職員

意図 教職員の健康管理を行い、学校教育の質の向上を図るため。

効果 教職員の心身の健康増進を図り、豊かで質の高い教育を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 教職員の適正な人事配置を行った。
- ・ 学校管理職としての資質の向上を図るための研修を行った。
- ・ 一日健康診断を行い、教職員の健康増進に努めた。
- ・ 福利厚生活動を実施し、教職員の元気回復に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,950	9,950	8,816		1,134
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	学校訪問産業医報酬(学校訪問及び相談業務) 2人		273	174
	学校訪問産業医報酬(安全衛生協議会開催)		50	0
8節	学校管理職研修会講師等謝礼		33	29
11節	消耗品費		10	10
13節	一日健康診断委託料		4,373	4,404
	教職員福利厚生事業委託料		3,896	2,471
	メンタルヘルス調査業務委託料		595	294
19節	神奈川県公立小中学校長会等負担金		1,720	1,434

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

学校施設管理事業

【 学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 学校施設等

意図 良好な学校施設の管理を行うため。

効果 学校施設に係る適切な財産管理等を行う。

【 事業の内容 】

・ 学校用地賃借事務、建物共済保険事務等、学校施設の管理事務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,823	46,823	46,236		587

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	文具類等消耗品費	70	64
12節	建物共済保険料	2,107	2,107
14節	学校用地賃借料	43,194	43,194
	第二中学校テニスコート用地使用料	1,452	871

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

学校安全対策事業

【 学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 学校施設等

意図 良好な学校施設の管理を行うため。

効果 児童等の安全確保及び学校施設に係る適切な財産管理等を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校に学校警備員を配置し、児童等の安全確保を図った。
- ・ 学校施設に係る機械警備委託を行った。
- ・ 第一中学校通学路の法面整備工事詳細設計等委託を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,738	56,873	56,363		510
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	小学校警備委託料		41,980	35,145
	学校機械警備委託料		5,259	5,259
	警備機器移設・再設置委託料		400	22
	第一中学校通学路法面整備工事詳細設計等委託料		22,099	15,937
<主な特定財源>				
	・地方債			11,900

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員 】

教育長

教育文化財部のうち教育総務課・学校施設課・学務課・教育指導課・教育センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	647,155	610,546
・ 2節 給料	8,592	8,592
特別職 1人		
一般職	215,877	209,414
一般職職員 55人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	339,657	313,414
扶養手当	4,289	4,438
地域手当	36,055	34,205
通勤手当	5,453	5,783
超過勤務手当	16,048	18,962
休日給	26	146
管理職手当	8,456	8,455
期末勤勉手当	102,557	94,997
住居手当	7,440	6,866
退職手当	156,813	137,468
管理職員特別勤務手当	0	64
児童手当	2,520	2,030
・ 4節 共済費	83,029	79,126
市町村職員共済組合負担金	82,459	78,464
社会保険料	464	522
雇用保険料	106	140

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課・教育総務課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部こども支援課

教育文化財部のうち教育総務課・学務課・教育指導課・教育センター

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	375,508	327,666
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	278,102	257,449
会計年度事務補助職員 8人		
会計年度学校技能員 47人		
学校給食調理補佐職員 5人		
学校給食調理補助職員 18人		
学校給食調理代用職員 5人		
就学時健康診断介助員 5人		
就学時健康診断事務員 11人		
学校図書館専門員 16人		
読書活動推進員 9人		
学校運営指導員 1人		
小・中学校市費負担非常勤講師 12人		
外国語指導助手 6人		
スクールアシスタント 16人		
教育委員会理学療法士 2人		
学級介助員 66人		
教育相談員 8人		
教育支援員 3人		
スクールソーシャルワーカー 1人		
教育指導員 2人		
・ 2節 給料 会計年度任用職員	2,566	2,566
特別支援学級補助員 1人		
・ 3節 職員手当等	52,610	47,479
地域手当	384	385
通勤手当	252	50
超過勤務手当	30	10
期末手当	51,944	47,034
・ 4節 共済費	12,861	9,792
公立学校共済組合負担金	775	704
社会保険料	11,594	8,343
雇用保険料	492	745
・ 9節 旅費	29,369	10,380
費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

就学支援事業

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により高等学校等への就学が困難な生徒の保護者等

意図 保護者の経済的負担を軽減し、高等学校教育に対する支援を行うため。

効果 保護者が安心して生徒を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 県や湘南地区の高等学校定時制、通信制の教育振興会への負担金を支出した。
- ・ 高等学校等への就学が困難な生徒の保護者に対して就学援助金を支出した。
- ・ 寄附金を就学援助基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,014	29,954	28,411		1,543
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	湘南地区高等学校定時制教育振興会等負担金		114	113
20節	高等学校等就学援助金 348人		13,500	10,440
25節	就学援助基金寄附等積立金		22,400	17,858

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

学校保健事務

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒

意図 児童生徒の健康の保持増進のため。

効果 学校保健の円滑な実施と成果の確保を図る。

【 事業の内容 】

・児童生徒の健康の保持・増進を図るため、各種検診や保健指導、備品更新などを実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,777	57,877	54,738		3,139
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	学校医報酬 113人		35,503	35,502
	学校薬剤師報酬 25人		4,580	4,580
8節	腎臓疾患及び糖尿病判定委員謝礼		480	480
	心臓疾患判定委員謝礼		140	140
	運動器疾患判定委員等謝礼		340	130
9節	会計年度任用職員費用弁償		192	57
11節	消耗品費		607	630
	印刷製本費		21	0
	医薬材料費		53	49
12節	環境衛生検査等手数料		410	341
13節	就学時健康診断業務委託料		1,801	1,800
	腎臓病及び糖尿病検診業務委託料		3,692	2,946
	心臓病検診業務委託料		5,435	4,501
	歯科保健指導業務委託料		2,084	687
	検診器具滅菌配送業務委託料		2,152	2,137
	結核健康診断精密検査業務委託料		1,023	143
	プール水水質検査業務委託料		911	0
18節	学校環境衛生検査機器備品購入費		0	262
19節	日本学校歯科医会会費等負担金		353	353

腎臓病検診

		受診者(人)	金額
一・二次検診 及び精密検診	小学校	7,596	1,936
	中学校	3,395	901
	計	10,991	2,837
定期検尿	小学校	58	55
	中学校	57	54
	計	115	109

心臓病検診

		受診者(人)	金額
一次検診	小学校	1,225	2,291
	中学校	1,140	2,132
	計	2,365	4,423
二次検診 (負荷心電図検査含)	小学校	0	0
	中学校	4	78
	計	4	78

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

就学事務

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 義務教育を的確に行うため。

効果 適切な学校教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

・小中学校への就学決定等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
334	334	158		176
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	学区審議会委員報酬		72	0
11節	就学用消耗品費		101	79
	卒業証書等印刷製本費		161	79

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

学校保険事務

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 学校管理下における児童生徒等の不測のけがや疾病及び賠償責任に対して、必要な保障を行うため。

効果 災害共済給付制度及び保険加入により、不測の事故等災害に対して児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、安心して学校生活を送れるようにするとともに、学校責任による賠償にも対応を図る。

【 事業の内容 】

・ 学校管理下における児童生徒の負傷・疾病等に備え、各種保険金や掛金等を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,540	11,540	11,465		75
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
12節 学校賠償責任等保険料			968	952
19節 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金			10,542	10,513
学校事故見舞金			30	0

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育指導運営事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 学校教育運営を円滑に図るため。

効果 円滑な学校教育運営の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ いじめ防止等に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることが出来るよう、いじめ問題対策連絡協議会及びいじめに関する調査委員会を開催した。
- ・ 各種会議及び協議会に参加し専門的資質の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,446	5,286	4,175		1,111
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	いじめに関する調査委員会委員報酬 4人		52	42
8節	いじめ問題対策連絡協議会委員等謝礼		62	10
9節	会計年度任用職員費用弁償		12	3
11節	消耗品費		449	321
19節	神奈川県中学校体育連盟等負担金		1,871	1,730
	修学旅行等中止又は延期に係る経費に対する補助金		0	1,869
22節	賠償金		0	200
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			1,869

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

情報教育事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 小・中学校教育用コンピュータの整備及びインターネットへの接続により、情報教育の推進・充実に図るため。

効果 情報教育の推進・充実に図る。

【 事業の内容 】

- ・市立小・中学校の教育用及び校務用コンピュータを運用した。
- ・市立小・中学校のインターネット接続環境を整備し、充実させた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,658	101,658	101,076		582
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	GIGAスクールアドバイザー謝礼		36	24
11節	消耗品費		1,371	1,346
	コンピュータ等維持修繕料		800	303
14節	小・中学校教育用コンピュータ等賃借料		58,952	58,952
	教育委員会校務支援システム等賃借料		5,340	5,340
	教育委員会小・中学校ネットワーク回線使用料		1,145	1,145
	小・中学校校務用コンピュータ等賃借料		8,103	8,103
	小・中学校教育用タブレット端末等賃借料		24,603	24,603
	小・中学校教育用・校務用周辺機器等賃借料		1,308	1,260

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

ICT教育環境整備事業

【 教育指導課 】

※重点事業(事業CD:4-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 今後の情報化社会で必要とされる情報活用能力等を育成していくため。

効果 今後の情報化社会に対応した情報教育環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・市立小・中学校の校舎内Wi-Fi環境を整備・運用した。
- ・鎌倉市教育ネットワークの高速化及びセキュリティの強靱化を図った。
- ・AIDリルを活用し、学校教育の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
401,698	402,697	390,146		12,551
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	指導者用デジタル教科書		1,324	1,173
13節	GIGAスクールサポーター委託料(一般校)		7,634	3,714
	GIGAスクールサポーター委託料(推進校)		3,000	1,485
	SINET接続・GIGA対応回線構築委託料		6,583	6,578
14節	資産管理システム・Windowsセキュリティ強化システム賃借料		4,598	4,092
	SINET・GIGA対応回線使用料		11,802	6,884
	小・中学校校務支援システム賃借料		8,271	9,755
	教育ネットワークシステムセンターサーバー等賃借料		5,255	5,254
	大型提示装置等賃借料		21,870	22,721
	小・中学校タブレット端末等賃借料		302,571	302,543
	AIDリル使用料		27,084	15,489
	指導者用デジタル教科書使用料		0	8,759
22節	授業目的公衆送信補償金		1,706	1,699
<主な特定財源>				
	・国県支出金			280,162

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育支援事業

【 教育指導課・教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 育成事業の実施、外国語指導助手及び各種補助指導者等の派遣を行い、学校教育の充実に向け支援するため。

効果 学校教育の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 外国語指導助手、日本語指導等協力者等を派遣し、学校教育の充実を図った。また、医療従事者を派遣し、校外学習において安全安心に努めた。
- ・ 小学校に学校図書館専門員を配置し、学校図書館の充実・読書活動の充実を図った。
- ・ 少人数学級編制・少人数指導を行い、学習及び生活指導の充実を図った。
- ・ 9年間を見通した教育課程を編成・実施し、中学校ブロックにおいて小中連携の取組を強化した。
- ・ SDGsをテーマにした、自ら課題を見つけ解決する資質を育む教育活動を実践した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,393	14,567	11,187		3,380
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	小学校英語活動サポーター謝礼		1,470	1,412
	全国大会等出場祝金		250	35
	日本語指導等協力者等謝礼		354	214
	かながわ学びづくり研究委託事業講師謝礼		0	168
9節	会計年度任用職員等費用弁償		1,453	659
11節	かながわ学びづくり研究委託事業消耗品費		0	241
12節	外部指導者傷害保険等保険料		104	88
13節	小学校能狂言鑑賞・体験教室実施業務委託料		2,857	2,857
	小学校校外学習医療従事者付添業務委託料		1,062	477
	SDGs×PBL推進事業等委託料		2,000	989
14節	小・中学校音楽会等施設使用料		2,260	797
	オリンピック学校連携観戦チケット料		1,233	0
19節	全国大会等出場負担金		100	0
	総合的な学習の時間等実践交付金		3,250	3,250
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			410

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

コミュニティスクール整備事業

【 教育指導課 】

※重点事業(事業CD:4-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 輝く子供たちの未来の創造に向け、学校と地域がパートナーとして連携した取組を進めるため。

効果 学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現を図る。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉版コミュニティスクール設置に向けた検討委員会を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
156	156	0		156

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 印刷製本費

156

0

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

特別支援教育事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図るため。

効果 個に応じた支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒の就学・進学に関する観察・協議を行うため、就学支援委員会を開催した。
- ・ 肢体不自由学級児童生徒の送迎バスを運行委託した。
- ・ 学級介助員、スクールアシスタント等を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,163	11,163	9,274		1,889
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	就学支援委員会委員報酬 3人		184	158
9節	会計年度任用職員費用弁償		744	264
12節	機能訓練対象児童生徒傷害等保険等保険料(特学)		76	66
13節	肢体不自由学級児童生徒送迎バス運行業務委託料(特学)		8,194	7,573
	階段昇降機保守点検委託料		79	0
14節	階段昇降機賃借料		717	713
19節	学級介助員等負担金		1,169	500

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

相談室事業

【 教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 幼児から青少年まで(主に学齢期)の本人とその保護者等

意図 いじめや不登校などの悩みに対し、適切なカウンセリングや、児童生徒を取り巻く環境への働きかけ、関係機関との連携構築等を介して支援を行うため。

効果 いじめや不登校などに悩む対象者が安心して学校生活や、社会生活を送れるようにする。

【 事業の内容 】

- ・ 電話・面接・訪問・心理検査により、児童生徒・保護者への相談、支援を実施した。
- ・ 教育相談員の定期学校訪問により、学校における教育相談を支援した。
- ・ 教育支援(集団生活への適応・基礎学力の補充)を実施した。
- ・ 主に学校生活に馴染めない児童生徒に対して興味や関心等に応じた課題探求プログラムを提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,363	8,363	7,884		479
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	メンタルフレンド謝礼		70	34
	スーパーバイザー謝礼		240	240
	精神科医師相談謝礼		80	80
9節	会計年度任用職員費用弁償		780	433
11節	消耗品費		240	207
	光熱水費		744	748
	教育支援教室小破修繕料		700	693
12節	電信料		321	254
	教育支援教室消防設備点検手数料		17	29
	メンタルフレンドボランティア保険料		5	4
13節	教育支援教室機械警備業務委託料		77	76
	教育支援教室トイレ清掃業務委託料		77	89
	かまくらULTLAプログラム業務委託料		4,994	4,995
14節	校外学習施設入園料		18	1
19節	校外学習負担金		0	1

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

調査研究研修事業

【 教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の教職員

意図 教育の今日的課題の解決に向けての研究・研修を進め、教育活動の支援を行うため。

効果 教職員の資質の向上を図り、今日的課題の解決能力を高める。

【 事業の内容 】

- ・ 教員並びに幼稚園・認定こども園・保育園の職員で研究会を組織し、教育現場の諸課題についての研究を行うとともに、幼児教育との連携を図った。
- ・ 教育現場の諸課題に対応し、その解決を図るための研修会を実施した。
- ・ 校内研修に講師を派遣し、学校の諸課題の解決を支援した。
- ・ 教育指導員を学校に派遣し、教職員への指導・助言を行い、その資質・指導力の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,761	1,761	1,542		219
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研究会・研修会講師等謝礼		1,432	1,360
9節	会計年度任用職員等費用弁償		197	86
11節	研究用図書等消耗品費		110	74
19節	神奈川県教育研究所連盟負担金		22	22

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育情報事業

【 教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため。

効果 児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る。

【 事業の内容 】

- ・市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し配布した。
- ・「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、郷土の歴史や文化等について理解を図った。
- ・教育情報の収集・提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
557	557	498		59
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節 「鎌倉教育史第三巻」編集委員謝礼			429	429
所報「かまくら教育」執筆者謝礼			10	0
11節 消耗品費			40	0
13節 「かまくら子ども風土記」販売委託料			78	69

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 25 幼児教育奨励費

◎子育て ○子育て家庭への支援

就園支援事業

【 子育て支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けない幼稚園等へ子どもを通園させている保護者等

意図 子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、また、幼児教育の充実に貢献するため。

効果 子育て家庭の経済的負担の軽減や、幼児教育の充実ににより子育て支援施策の充実が図られ

【 事業の内容 】

- ・新制度未移行幼稚園を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。
- ・幼児教育の充実を図るため、新制度未移行幼稚園における教材教具購入等の費用及び園児の健康診断の費用に対し、私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金を交付した。
- ・幼児教育向上のため研修会を実施し、指導力の充実と幼稚園相互の連携を深める目的で、鎌倉私立幼稚園協会に補助金を交付した。
- ・子育て支援施策、待機児童対策として、新制度未移行幼稚園の預かり保育に対して補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
414,183	381,395	366,019		15,376
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	卒園児記念品等		617	589
11節	消耗品費		38	1,297
19節	私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金		8,000	6,000
	鎌倉私立幼稚園協会補助金		1,350	1,350
	私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金		10,170	7,026
20節	幼児教育無償化扶助費(新制度未移行幼稚園)		369,720	334,797
	幼児教育無償化扶助費(新制度未移行幼稚園預かり保育)		7,992	4,878
	副食費補足給付		1,296	442
	幼稚園類似施設就園奨励費補助金		15,000	120
	鎌倉市地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業費補助金		0	9,520
<主な特定財源>				
	・国県支出金			267,050

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の児童等

意図 安定した学校運営を支援するため。

効果 質の高い公教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校16校の授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達などにより、小学校運営の充実を図った。
- ・ 児童の学びの保障をするため、前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや非接触型体温計等の配備を行った。また、令和3年度に追加で交付を受けた補助金については、年度内に完了できないため一部を翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 西鎌倉小学校下駄箱作製業務委託について、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,791	129,599	112,475	11,033	6,091
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	研修会講師等謝礼	5	0	
10節	小学校交際費	90	15	
11節	教材用他消耗品費	65,209	60,011	
	学校保健特別対策消耗品費(前年度からの繰越明許費)	0	8,129	
	学校保健特別対策消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	8,557	
	プロパンガス・灯油等燃料費	4,516	4,240	
	学校要覧等印刷製本費	109	109	
	校舎小破等維持修繕料	3,969	3,558	
	教材教具等備品修繕料	1,517	1,164	
	保健用医薬材料費	798	796	
	学校保健特別対策医薬材料費	0	106	
12節	保健衛生用等手数料	958	902	
	筆耕翻訳料	182	163	
13節	校舎維持等委託料	2,672	2,491	
	備品廃棄処分委託料	1,650	1,203	
	遊具・体育器具点検委託料	137	137	
	西鎌倉小学校下駄箱作製業務委託料(翌年度への事故繰越し)	77	0	
14節	ケーブルテレビ使用料	591	591	
	清掃用具賃借料	506	506	
	印刷機賃借料	517	559	
	NHK放送受信料等	573	258	
18節	教材教具等備品購入費	14,315	11,053	
	教材用楽器整備備品購入費	2,400	2,226	

学校保健特別対策備品購入費(翌年度への繰越明許費)	0	5,701
<主な特定財源>		
・国県支出金		24,403

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校給食事務

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校に就学する児童

意図 小学校の完全給食を実施するため。

効果 児童の心身の健全な発達の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ より安全で安定した給食を実施した。
- ・ 給食を通じた食に関する指導を推進した。
- ・ 衛生検査の実施や研修会を開催し、給食調理現場の安全作業環境の維持に努めた。
- ・ 給食用機器類(食器・備品)の補充及び更新を行った。
- ・ 給食費の公会計化導入に向けた準備を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
283,953	283,953	279,660		4,293
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	安全衛生研修会講師謝礼		10	10
11節	給食用補充食器等消耗品費		5,934	5,599
	放射性物質測定用食材消耗品費		10	14
	備品修繕料		1,850	1,411
	医薬材料費		30	30
12節	腸内細菌培養検査等手数料		307	188
13節	深沢小学校及び山崎小学校給食調理等業務委託料		58,250	58,249
	小坂小学校及び今泉小学校給食調理等業務委託料		46,089	46,089
	西鎌倉小学校及び玉縄小学校給食調理等業務委託料		49,852	49,852
	第一小学校及び腰越小学校給食調理等業務委託料		50,094	50,094
	第二小学校及び御成小学校給食調理等業務委託料		46,627	46,627
	小学校給食費管理等業務委託料		6,740	6,668
	小学校給食残さ収集運搬業務委託料		5,148	2,568
	小学校給食残さ資源化業務委託料		1,352	1,250
18節	器具用熱風消毒保管庫備品購入費		2,486	1,320
	牛乳保冷库備品購入費		7,098	6,710
	保存食用冷凍庫等備品購入費		756	0
	生ごみ保管庫備品購入費		1,320	1,111
	フライヤー備品購入費		0	1,705
	ドライ式移動台備品購入費		0	165

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校研究・研修事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の児童等

意図 教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図るため。

効果 教員の指導力の向上、指導方法の工夫改善により、児童の学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る。

【 事業の内容 】

・各校において、教育課程や児童指導等の課題について研究・研修に取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400	400	399		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研究・研修講師謝礼		261	261
11節	消耗品費		139	138

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

小学校施設管理運営事業

【 教育総務課・学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立小学校16校

意図 小学校の施設・設備の機能を維持するため。

効果 児童の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検、修繕等を実施した。
- ・ 小学校16校分の光熱水費、電信料等を執行した。
- ・ 学校等における感染症対策等支援事業に係る全熱交換器のエアフィルターの購入は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 七里ガ浜小学校の揚水ポンプ取替え修繕は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
280,883	284,323	262,470	4,950	16,903
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	ペンキ・木材等消耗品費	2,126	1,691	
	学校保健特別対策消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	小学校光熱水費	148,861	143,589	
	深沢小学校校内防犯カメラ設備取替え等修繕料	57,360	48,208	
	稲村ヶ崎小学校非常用放送設備修繕料	924	924	
	富士塚小学校消火栓配管漏水修繕料	550	550	
	御成小学校給食室下洗場壁及び床修繕料	1,299	1,299	
	第二小学校非常用放送設備修繕料	935	935	
	大船小学校3年2組床修繕料	1,298	1,298	
	大船小学校音楽室冷暖房設備修繕料	1,199	1,199	
	深沢小学校給食室ドライ式シンク取替え修繕料	864	864	
	植木小学校給食室ドライ式シンク取替え修繕料	1,099	1,099	
	第一小学校給食室給気・排気ファン取替え修繕料	1,295	1,295	
	御成小学校体育館電動式収納ステージ修繕料	1,226	1,226	
	第二小学校揚水ポンプ取替え修繕料	614	614	
	七里ガ浜小学校揚水ポンプ取替え修繕料(翌年度への繰越明許費)	1,826	0	
	七里ガ浜小学校多目的室冷暖房設備等修繕料	1,178	3,630	
	稲村ヶ崎小学校北棟手摺修繕料	4,268	4,268	
	関谷小学校1階生活科室及び備品倉庫照明器具取替え等修繕料	991	991	
12節	小学校電信料	3,980	3,821	
	自家用電気工作物点検手数料	2,488	2,584	
	消防用設備等点検手数料	1,298	1,034	
	給食用小荷物専用昇降機点検手数料	1,122	483	
	御成小学校エレベーター点検手数料	818	818	

	第一種特定製品点検手数料	3,802	3,124
	防火シャッター等点検等手数料	469	459
13節	トイレ清掃委託料	8,247	8,098
	受水槽等清掃委託料	1,670	1,525
	給食室換気扇・天井等清掃委託料	2,024	2,024
	給食室ガス器具点検委託料	1,500	1,596
	自動ドア保守点検委託料	297	297
	濾過機保守点検委託料	404	404
	緊急時用浄水装置保守点検委託料	79	110
	ガスヒートポンプエアコン保守点検委託料	1,161	1,161
	油汚泥収集運搬等委託料	1,361	1,292
	油汚泥処分委託料	1,291	1,291
	漏水調査委託料	587	132
	植栽維持管理委託料	1,900	1,973
	体育館床樹脂皮膜塗布委託料	1,055	844
	小学校施設管理委託料	15,769	14,706
	<u>低濃度PCB廃棄物処分委託料</u>	374	0
	<u>非PCB廃棄物処分委託料</u>	114	0
	<u>測量等業務委託料</u>	0	83
14節	小学校電話設備賃借料	1,160	931

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員 】
小学校

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	318,774	298,467
・ 2節 給料 一般職	163,552	154,924
一般職職員 39人		
短時間勤務職員 8人		
・ 3節 職員手当等	102,346	92,530
扶養手当	2,408	2,263
地域手当	24,896	23,599
通勤手当	4,410	4,397
超過勤務手当	1,320	521
休日給	15	0
特殊勤務手当	20	21
期末勤勉手当	63,785	57,158
住居手当	4,652	3,831
児童手当	840	740
・ 4節 共済費	52,876	51,013
公立学校共済組合負担金	49,447	47,297
社会保険料	3,114	3,176
雇用保険料	315	540

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校特別支援教育事業

【 教育総務課・教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)に通う児童

意図 安定した特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)の運営を支援するため。

効果 質の高い特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)の運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別支援教育を円滑に実施するため、通級指導教室を含めた学級数及び児童数により、予算を各小学校に配当し、授業、行事などの学校生活に必要な物品、役務の調達や管理などを行った。
- ・ 関谷小学校特別支援学級開設に向け必要な物品の調達を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,285	7,285	7,116		169
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研修会講師等謝礼(特学・通級)		270	222
11節	教材用消耗品費(特学・通級)		4,608	4,597
	関谷小学校特別支援学級初度調弁(特学)		1,477	1,443
	教材教具備品修繕料(通級)		10	10
12節	ピアノ調律手数料(特学)		42	40
13節	オーディオメーター等点検委託料(通級)		319	306
	関谷小学校特別支援学級内線電話設置委託料(初度調弁)(特学)		50	83
18節	関谷小学校特別支援学級初度調弁(特学)		509	415

小学校教育振興助成事業

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により就学が困難な児童の保護者や、特別支援学級に就学している児童の保護者

意図 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図るため。

効果 保護者が安心して児童を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護及び準要保護児童に対して必要な扶助を行った。
- ・ 特別支援学級・ことばの教室等に就学する児童に対して必要な扶助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
109,811	102,811	86,398		16,413
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	要保護及び準要保護児童扶助費		104,515	83,486
	内訳			
	学用品費		13,893	11,823
	通学用品費		2,248	1,995
	校外活動費(宿泊を伴わないもの)		1,906	1,622
	校外活動費(宿泊を伴うもの)		632	483
	新入学児童等学用品費		23,697	17,079
	修学旅行費		5,569	3,226
	通学費		255	93
	給食費		55,365	46,244
	医療費		10	0
	めがね検眼・購入費		940	921
	特別支援教育就学奨励費		5,296	2,912
	内訳			
	学用品費		578	292
	通学用品費		98	48
	校外活動費(宿泊を伴わないもの)		95	48
	校外活動費(宿泊を伴うもの)		46	51
	新入学児童学用品費		435	256
	修学旅行費		184	81
	通学費		712	346
	給食費		2,729	1,380
	言語・難聴・情緒通級費		419	410
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,169

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 15 学校建設費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

小学校施設整備事業

【 学校施設課 】

※重点事業(事業CD:4-3-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立小学校16校

意図 小学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。

効果 児童の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・西鎌倉小学校及び御成小学校の老朽化対策工事を行った。
- ・関谷小学校特別支援学級教室改修工事を行った。
- ・小学校3校のアスベスト含有調査業務委託、西鎌倉小学校体育館LAN配線等撤去・復旧業務委託及び御成小学校特別支援学級教室前両開き戸設置等業務委託を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
271,359	254,261	254,151		110
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節	アスベスト含有調査業務委託料		0	535
	西鎌倉小学校体育館LAN配線等撤去・復旧業務委託料		0	143
	御成小学校特別支援学級教室前両開き戸設置等業務委託料		0	1,089
15節	老朽化対策工事請負費(西鎌倉小学校外壁等改修工事)		149,930	149,193
	老朽化対策工事請負費(御成小学校ウッドデッキ等改修工事)		81,741	66,946
	関谷小学校特別支援学級教室改修工事請負費		39,688	36,245
<主な特定財源>				
	・国県支出金			44,059
	・地方債			166,400

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の生徒等

意図 安定した学校運営を支援するため。

効果 質の高い公教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 中学校9校の授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達などにより、中学校運営の充実を図った。
- ・ 生徒の学びの保障をするため、前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや非接触型体温計等の配備を行った。また、令和3年度に追加で交付を受けた補助金については、年度内に完了できないため一部を翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,480	72,973	66,198	2,076	4,699
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
10節	中学校交際費	70	32	
11節	教材用他消耗品費	42,286	39,341	
	学校保健特別対策消耗品費(前年度からの繰越明許費)	0	2,048	
	学校保健特別対策消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	4,442	
	プロパンガス・灯油等燃料費	1,873	1,188	
	学校要覧等印刷製本費	37	21	
	校舎小破等維持修繕料	2,288	2,163	
	手広中学校天吊りバスケットゴール修繕料	664	665	
	教材教具等備品修繕料	1,540	1,332	
	保健用医薬材料費	416	415	
	学校保健特別対策医薬材料費	0	14	
12節	保健衛生用等手数料	659	645	
	学校保健特別対策手数料	0	1,818	
	筆耕翻訳料	526	138	
13節	校舎維持等委託料	2,590	2,393	
	備品廃棄処分委託料	900	724	
	体育器具点検委託料	71	71	
14節	清掃用具等賃借料	960	922	
18節	教材教具等備品購入費	2,900	2,592	
	教材用楽器整備備品購入費	2,700	2,674	
	学校保健特別対策備品購入費	0	2,355	
	学校保健特別対策備品購入費(前年度からの繰越明許費)	0	205	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			12,865

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校給食事務

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校に就学する生徒

意図 中学校の完全給食を実施するため。

効果 生徒の心身の健全な発達の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・安全で安心な給食を実施した。
- ・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供するための献立を作成した。
- ・給食予約等の適正な管理運用に努めた。
- ・中学校給食の特色を周知するため、保護者説明会は実施したが、試食会の開催は見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230,305	240,349	236,326		4,023
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			3,338	3,157
印刷製本費			226	0
12節 電信料			52	33
食品検査等手数料			48	39
13節 給食調理等業務委託料			213,441	219,897
給食予約等管理運用業務委託料			13,200	13,200

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校研究・研修事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の生徒等

意図 教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図るため。

効果 教員の指導力の向上、指導方法の工夫改善により、生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る。

【 事業の内容 】

・各校において、教育課程や生徒指導等の課題について研究・研修に取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200	200	146		54
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研究・研修講師謝礼		158	106
11節	消耗品費		42	40

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

中学校施設管理運営事業

【 教育総務課・学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立中学校9校

意図 中学校の施設・設備の機能を維持するため。

効果 生徒の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 中学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検や修繕を実施した。
- ・ 中学校9校分の光熱水費、電信料等を執行した。
- ・ 学校等における感染症対策等支援事業に係る全熱交換器のエアフィルターを購入は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,255	119,399	98,911	2,893	17,595
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	ペンキ・木材等消耗品費	1,900	1,079	
	学校保健特別対策消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	中学校光熱水費	48,404	44,030	
	岩瀬中学校フェンス等修繕料	30,080	18,215	
	岩瀬中学校揚水ポンプ取替え修繕料	857	857	
	手広中学校共用プールろ過機修繕料	993	993	
	腰越中学校体育館システム壁修繕料	814	814	
	腰越中学校体育館電動式ステージ修繕料	540	540	
	手広中学校体育館防球ネット取替え修繕料	880	880	
	御成中学校グラウンド西側落石防止網補修等修繕料	693	693	
	第二中学校南棟・中央棟外壁等塗装修繕料	4,840	4,840	
	深沢中学校グラウンドネットフェンス等取替え修繕料	3,058	3,058	
	手広中学校2階学習室冷暖房設備修繕料	698	698	
	大船中学校武道場高所窓等修繕料	1,003	1,003	
12節	中学校電信料	2,257	2,184	
	自家用電気工作物点検手数料	1,475	1,572	
	消防用設備等点検手数料	682	561	
	第二中学校エレベーター点検手数料	984	984	
	御成中学校エレベーター点検手数料	805	805	
	大船中学校エレベーター点検手数料	1,790	1,790	
	玉縄中学校エレベーター点検手数料	957	957	
	第一種特定製品点検手数料	2,103	2,077	
	防火シャッター等点検等手数料	243	237	
13節	トイレ清掃委託料	3,335	3,286	
	受水槽等清掃委託料	695	632	
	浄化槽清掃委託料	142	142	

	浄化槽保守点検委託料	35	35
	濾過機保守点検委託料	182	162
	緊急時用浄水装置保守点検委託料	30	88
	ガスヒートポンプエアコン保守点検委託料	1,217	1,217
	油汚泥収集運搬等委託料	206	195
	油汚泥処分委託料	116	116
	漏水調査委託料	490	132
	植栽維持管理委託料	1,900	2,520
	体育館床樹脂皮膜塗布委託料	1,113	890
	中学校施設管理委託料	1,071	120
	非PCB廃棄物処分委託料	20	0
14節	中学校電話設備賃借料	647	509

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員 】

中学校

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	70,880	64,092
・ 2節 給料 一般職	36,005	34,275
一般職職員 9人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	23,045	18,642
扶養手当	406	316
地域手当	5,463	5,189
通勤手当	1,120	842
超過勤務手当	447	219
休日給	20	0
特殊勤務手当	19	26
期末勤勉手当	13,548	11,216
住居手当	1,902	714
児童手当	120	120
・ 4節 共済費	11,830	11,175
公立学校共済組合負担金	11,381	10,447
社会保険料	368	425
雇用保険料	81	303

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員 】
教育文化財部学務課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	2,217	2,066
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 学校給食栄養補助職員 1人	1,443	1,437
・ 3節 職員手当等 期末手当	306	288
・ 4節 共済費	300	293
社会保険料	288	271
雇用保険料	12	22
・ 9節 旅費 費用弁償	168	48

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校特別支援教育事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の特別支援学級に通う生徒

意図 安定した特別支援学級の運営を支援するため。

効果 質の高い特別支援学級の運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・特別支援教育を円滑に実施するため、授業、行事などの学校生活に必要な物品、役務の調達や管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,767	3,767	3,765		2

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 教材用消耗品費	3,741	3,740
12節 ピアノ調律手数料	26	25

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校教育振興助成事業

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者や、特別支援学級に就学している生徒の保護者

意図 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図るため。

効果 保護者が安心して生徒を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護及び準要保護生徒に対して必要な扶助を行った。
- ・ 特別支援学級等に就学する生徒に対して必要な扶助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,537	67,537	54,738		12,799
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節 要保護及び準要保護生徒扶助費			67,594	52,783
内訳				
学用品費			14,361	12,969
通学用品費			961	832
校外活動費(宿泊を伴わないもの)			1,461	1,319
校外活動費(宿泊を伴うもの)			1,384	738
新入学生徒学用品費			1,435	1,033
修学旅行費			12,181	7,011
通学費			305	153
給食費			34,214	27,926
医療費			10	0
めがね検眼・購入費			1,282	802
特別支援教育就学奨励費			3,943	1,955
内訳				
学用品費			558	277
通学用品費			42	22
校外活動費(宿泊を伴わないもの)			63	31
校外活動費(宿泊を伴うもの)			37	25
新入学生徒学用品費			348	145
修学旅行費			577	301
通学費			847	477
給食費			1,455	676
言語・難聴通級費			11	0
職場実習交通費			5	1
<主な特定財源>				
・国県支出金				954

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 15 学校建設費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

中学校施設整備事業

【 学校施設課 】

※重点事業(事業CD:4-3-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立中学校9校

意図 中学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。

効果 生徒の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

・ 中学校1校のアスベスト含有調査業務委託を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	235	235		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 アスベスト含有調査業務委託料

0 235

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

美術館建設準備事業

文化課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 文化

施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 文化を創造するまちづくりに資する施設となる美術館の設置に向けて準備をするため。

効果 鎌倉ゆかりの美術工芸品等の収集及び保存を図る。

【 事業の内容 】

- ・美術工芸品等収集選定委員会の開催、作品の収集、高田博厚作品を含む美術品保管委託等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,911	2,911	2,901		10
< 支出内訳 >				
			当初予算額	支出済額
1節	美術工芸品等収集選定委員会委員報酬 5人		52	52
8節	美術家専門家助言謝礼		10	0
13節	美術品保管委託料		2,483	2,483
	美術品搬送委託料		366	366

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

鏑木清方記念美術館管理運営事業

【 文化課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 文化
施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鏑木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鏑木美術品等の調査及び研究を行うため。

効果 鏑木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

【 事業の内容 】

- ・ 指定管理者制度により、鏑木清方記念美術館の効率的な管理運営を行った。
- ・ 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,008	49,008	48,089		919
< 支出内訳 >			当初予算額	支出済額
11節	維持修繕料		2,000	1,082
13節	鏑木清方記念美術館指定管理料		46,761	46,760
14節	鏑木清方記念美術館電子複写機賃借料		247	247

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

社会教育運営事業

【 教育総務課・学務課・生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「生きがい」や「自己実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。

効果 「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

【 事業の内容 】

- ・ 社会教育委員会議を運営した。
- ・ 社会教育振興事業など、社会教育に関する事業を実施した。
- ・ 教育文化施設建設等の財源に充てるための基金を運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,984	3,916	2,847		1,069
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	社会教育委員報酬 10人		498	318
8節	社会教育振興事業(なつの学習教室)報償費		68	33
	教育委員会賞報償費		83	83
9節	社会教育委員等費用弁償		16	1
11節	消耗品費		40	40
12節	筆耕翻訳料		80	39
	なつの学習教室スタッフ等保険料		12	11
19節	神奈川県社会教育委員連絡協議会負担金		11	11
	市PTA連絡協議会補助金		70	70
25節	教育文化施設建設等基金利子積立金		606	38
	教育文化施設建設等基金寄附等積立金		1,500	2,203

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

吉屋信子記念館管理運営事業

生涯学習課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えるとともに、市民の文化教養の向上を図るため。

効果 生涯学習施設としての市民等の学習の場として活用する。

吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える。

【 事業の内容 】

・ 吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、施設貸出業務などを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,927	1,927	1,485		442
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			11	2
吉屋信子記念館光熱水費			121	93
各所修繕料			418	418
12節 電信料			48	43
火災報知機保守点検手数料			33	33
建物総合損害共済保険料			12	11
13節 管理補助業務委託料			490	92
庭園管理業務委託料			396	396
機械警備業務委託料			200	199
枝払い業務委託料			198	198

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課・教育総務課 】

【 対象となる職員 】

共生共創部文化課

こどもみらい部青少年課

教育文化財部文化財課・生涯学習課・中央図書館

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	469,197	437,675
・ 2節 給料 一般職	225,136	208,547
一般職職員 53人		
短時間勤務職員 7人		
・ 3節 職員手当等	165,801	154,682
扶養手当	3,311	2,536
地域手当	35,046	32,358
通勤手当	5,956	5,589
超過勤務手当	10,459	13,956
休日給	2,408	2,812
管理職手当	5,163	4,061
特殊勤務手当	53	2
期末勤勉手当	94,164	85,869
住居手当	7,621	5,876
管理職員特別勤務手当	0	13
児童手当	1,620	1,610
・ 4節 共済費	78,260	74,446
市町村職員共済組合負担金	75,017	71,323
社会保険料	3,009	2,748
雇用保険料	234	375

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課・教育総務課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部青少年課

教育文化財部のうち文化財課・生涯学習課・中央図書館

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	288,264	249,995
・ 1節 報酬	191,291	177,862
会計年度任用職員		
会計年度事務補助職員 15人		
社会教育指導員 1人		
生涯学習センター管理業務補助職員 25人		
近代史資料研究員 1人		
歴史的公文書選別等業務職員 2人		
図書館業務補助職員 31人		
遺跡発掘調査研究員 3人		
埋蔵文化財調査員 34人		
埋蔵文化財事務補助職員 1人		
鎌倉歴史文化交流館会計年度学芸員 2人		
鎌倉国宝館会計年度学芸員 1人		
鎌倉国宝館会計年度学芸補助職員 2人		
・ 3節 職員手当等	39,858	34,767
期末手当		
・ 4節 共済費	35,593	30,549
社会保険料	34,188	28,588
雇用保険料	1,405	1,961
・ 9節 旅費	21,522	6,817
費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

史跡環境整備事業

文化財課

※重点事業(事業CD:2-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 国等指定史跡

意図 国等指定史跡の公有地化及び整備により、保護するため。

効果 国等指定史跡を保護する。

【 事業の内容 】

- ・ 史跡永福寺跡の公開活用及び維持管理、災害対応並びに史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事等を行った。
- ・ 史跡永福寺跡の公有地化を行った。
- ・ 公有地化した史跡の維持管理を行った。
- ・ 史跡法華堂跡(北条義時墓)等の整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,747	125,147	120,742		4,405
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	史跡等整備アドバイザー会議等謝礼		218	83
11節	消耗品費		564	430
	光熱水費		493	71
	維持修繕料		50	48
12節	電信料		85	85
13節	史跡永福寺跡維持管理業務委託料		11,791	9,892
	史跡等維持管理業務委託料		15,000	14,518
	公衆Wi-Fi運用・保守業務委託料		119	119
	史跡永福寺跡土地鑑定業務委託料		220	132
	史跡永福寺跡建物等評価業務委託料		1,463	986
	史跡永福寺跡危険木伐採等業務委託料		0	10,307
	史跡永福寺跡落石防止網設置等業務委託料		0	2,420
	高額資材等の価格調査に関する業務委託料		0	126
15節	史跡大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事請負費		50,000	50,000
17節	史跡永福寺跡土地購入費		15,159	11,035
19節	全国史跡整備市町村協議会負担金		40	40
	全史協関東地区協議会負担金		10	0
	協働事業負担金		350	350
22節	史跡永福寺跡建物補償費		22,185	20,100
<主な特定財源>				
	・国県支出金			26,224
	・地方債			27,700

文化財調査・整備事業

文化財課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 有形・無形文化財、民俗文化財、埋蔵文化財等を適切に保護するため。

効果 文化財を適切に保護し、後世に伝える。

【 事業の内容 】

- ・ 文化財の調査及び指定、発掘調査による埋蔵文化財の記録保存を行い、調査報告書を発行した。
- ・ 出土品保管施設移転業務は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 発掘調査に伴い出土した遺物の整理を行い、適正かつ効率的な保管・管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
135,572	111,751	55,814	40,462	15,475
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	文化財専門委員報酬 9人		276	196
8節	文化財調査謝礼等報償費		287	111
9節	費用弁償		376	107
11節	発掘関係等消耗品費		2,742	2,712
	燃料費		144	104
	埋蔵文化財緊急調査報告書等印刷製本費		2,666	1,188
	光熱水費		1,110	914
	維持修繕料		222	0
	車両修繕料		132	65
	医薬材料費		6	3
12節	電信料		165	58
	文化財関係調査員等保険料		12	1
13節	発掘調査作業業務委託料		6,533	5,130
	資料整理業務委託料		841	841
	花粉等分析業務委託料		341	311
	空中写真撮影業務委託料		374	319
	発掘調査用機材運搬業務委託料		187	114
	発掘調査支援業務委託料		1,870	1,642
	出土遺物保存処理業務委託料		8,349	498
	出土品保管箱運搬業務委託料		297	277
	出土品保管箱整理作業業務委託料		1,742	1,742
	確認調査発掘削業務委託料		2,663	1,964
	分室管理業務委託料		1,797	1,797
	分室機械警備業務委託料		92	92
	分室枝払い等業務委託料		616	195
	フィルム等デジタル化業務委託料		7,810	6,303

	仮設トイレ汲み取り業務委託料	37	21
	文化財課分室廃棄物処理業務委託料	44	44
	<u>出土品保管施設移転業務委託料(翌年度への繰越明許費)</u>	36,000	0
14節	トランシット賃借料	1,031	1,031
	発掘調査用機材賃借料	484	424
	文化財システムパソコン賃借料	3,153	3,152
	分室賃借料	2,178	2,178
	<u>出土品保管施設賃借料</u>	33,810	11,471
19節	出土資料共同研究負担金	300	300
	発掘調査費補助金	14,400	8,059
	市指定文化財管理補助金	2,480	2,445
27節	自動車重量税	5	5

<主な特定財源>

・国県支出金

52,562

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

文化財保存・修理助成事業

【 文化財課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
 分野 歴史環境
 施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 指定文化財の所有者等

意図 指定文化財等の適切な保護を図り、後世に伝えるため。

効果 指定文化財等を適切に保護し、後世に伝える。

【 事業の内容 】

・指定文化財等の保護を図るために必要な費用に対し補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,698	38,198	37,252		946
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節	国指定重要文化財円覚寺五百羅漢像保存修理業務委託料	15,955	15,955	
	国指定重要文化財浄智寺木造地藏菩薩坐像保存修理業務委託料	4,299	4,299	
19節	面掛行列保存育成事業補助金	60	0	
	鎌倉文化財防災連絡協議会事業補助金	3,802	3,581	
	鎌倉市郷土芸能保存協会育成事業補助金	134	134	
	指定文化財緊急保存修理事業補助金	1,000	452	
	国指定重要文化財光明寺本堂保存修理事業補助金	12,500	10,000	
	国指定重要文化財円覚寺文書保存修理事業補助金	171	171	
	国指定重要文化財東慶寺初音蒔絵火取母保存修理事業補助金	160	144	
	国指定重要文化財浄光明寺木造阿弥陀如来及両脇侍坐像保存修理事業補助金	272	245	
	国指定重要文化財建長寺伽藍神像修理事業補助金	280	252	
	国指定史跡浄智寺境内保存活用計画策定事業補助金	293	291	
	国指定史跡瑞泉寺境内・名勝瑞泉寺庭園環境整備事業補助金	416	416	
	国指定史跡名越切通環境整備事業補助金	140	140	
	国指定史跡寿福寺境内環境整備事業補助金	768	768	
	国登録有形文化財材木座公会堂保存修理事業補助金	448	404	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			13,501

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

文化財公開活用事業

文化財課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市内に所在する文化財を公開・活用し、文化財の魅力を発信することで、郷土への理解及び文化財への愛着を深めるため。

効果 郷土への理解及び文化財への愛着を深めることにより、文化財を確実に後世へ伝えていく。

【 事業の内容 】

・ 指定文化財標柱等の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,018	468	436		32
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		27	0
13節	郷土芸能大会支援業務委託料		551	0
	指定文化財標柱等設置業務委託料		440	436

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉市にふさわしい博物館事業

生涯学習課

※重点事業(事業CD:2-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市にふさわしい博物館のあり方を検討し、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるため。

効果 市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会条例を制定し、基本計画策定に向け、委員会で検討を始めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
204	204	72		132

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会委員報酬 7人 204 72

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 15 生涯学習センター費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

生涯学習センター推進事業

生涯学習課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。

効果 「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民団体である鎌倉市生涯学習推進委員会に委託し、各種講座・イベントの開催や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行など、生涯学習推進事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,067	5,067	4,824		243

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償	3	2
13節 生涯学習推進事業委託料	5,064	4,822

- ・ 生涯学習センター事業利用状況(延人数)

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄(含分室)	合計
推進事業のイベント・講座	1,220	341	289	217	217	2,284

- ・ 生涯学習教養セミナー実施回数及び参加者

種別	実施回数	参加者
生涯学習教養セミナー	7	62

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 15 生涯学習センター費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

生涯学習センター管理運営事業

生涯学習課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。

効果 「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・生涯学習センターの総合管理、生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理及び運営に必要な業務を行った。
- ・鎌倉生涯学習センター空調設備修繕は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
198,881	192,681	133,766	47,300	11,615
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	指定管理者選定委員会委員報酬 5人	156	134	
11節	一般事務用・センター運営用消耗品費	2,212	1,997	
	燃料費	51	21	
	来場者用食糧費	22	0	
	鎌倉生涯学習センター等光熱水費	13,004	8,753	
	維持修繕料(各学習センター・学校開放施設)	7,200	6,392	
	鎌倉生涯学習センター空調設備修繕料(翌年度への繰越明許費)	54,000	0	
	備品修繕料	50	0	
	車両修繕料	121	59	
	医薬材料費	3	3	
12節	電信料	979	785	
	鎌倉生涯学習センターエレベーター保守点検手数料	1,373	1,333	
	鎌倉生涯学習センター非常用自家発電設備保守点検等手数料	1,185	1,167	
	消防設備点検等手数料	1,704	1,647	
	建物総合損害共済保険料	48	47	
13節	鎌倉生涯学習センター総合管理業務委託料	34,468	34,320	
	鎌倉生涯学習センターホール機構管理運営業務委託料	24,181	22,191	
	鎌倉生涯学習センター設備保守点検業務委託料	2,379	2,379	
	深沢学習センター舞台吊物保守点検業務委託料	156	156	
	たまなわ交流センター総合管理業務委託料	9,847	9,847	
	たまなわ交流センター設備保守点検業務委託料	190	190	
	学校開放施設管理業務委託料	6,734	4,041	
	機械警備業務委託料	321	321	
	産業廃棄物処理業務委託料	182	150	
14節	鎌倉生涯学習センター土地賃借料	31,375	30,711	
	生涯学習ネットワークシステム機器賃借料	5,489	5,488	

印刷機等賃借料	1,358	1,342
18節 備品購入費	0	179
19節 神奈川県高圧ガス保安協会加入者負担金	36	36
23節 過年度収入分の使用料還付金	50	70
27節 軽自動車重量税	7	7

<主な特定財源>

・国県支出金 180

・生涯学習センター利用状況

鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄(含分室)	合計
5,589件	2,107件	3,234件	2,587件	3,453件	16,970件
87,710人	19,351人	38,833人	23,621人	42,719人	212,234人

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 20 青少年育成費

◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

育成事業

【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 青少年育成

施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 青少年等

意図 次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進するため。

効果 青少年に多様な体験・活動の機会を提供し、地域を支える人材を育成する。
地域に青少年が集うことができる居場所や社会参画の機会・仕組みを提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 青少年が自立・参画・共生していく基礎を育むことができる居場所づくりを支援した。
- ・ 地域で青少年を育成する風土を醸成するとともに、将来の地域づくりの担い手となる青少年の育成を目指し、発達段階に応じた社会参画の機会を創出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,499	6,065	4,760		1,305
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	青少年問題協議会委員報酬 8人		102	82
8節	青少年指導員報償費		1,650	1,177
	成人のつどい着付け等謝礼		27	22
9節	青少年指導員費用弁償		11	0
11節	消耗品費		72	562
	わかたま腰越ブラインド取付修繕料		0	38
12節	青少年指導員保険料		28	27
13節	成人のつどい事業委託料		1,650	1,528
	育成事業委託料		480	50
	ジュニアリーダーズクラブ研修事業委託料		35	35
14節	成人のつどい芸術館使用料		352	339
19節	子ども会補助金		675	483
	青少年指導員連絡協議会補助金		417	417
<主な特定財源>				
	・国県支出金			175

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 20 青少年育成費

◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

青少年会館管理運営事業

【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 青少年育成

施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 青少年

意図 交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。

効果 青少年の健全育成に寄与する。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,475	24,909	23,387		1,522
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	会館講師謝礼	192	80	
11節	消耗品費	304	255	
	燃料費	15	0	
	光熱水費	4,172	3,706	
	二階堂運動広場イベント用電源盤修繕料	668	668	
	鎌倉青少年会館空調機修繕料	3,124	3,124	
	玉縄青少年会館非常照明用非常電源取替修繕料	0	2,970	
	会館維持修繕料	5,000	1,690	
	備品修繕料	20	0	
	医薬材料費	3	0	
12節	電信料	252	202	
	昇降機保守点検手数料	779	779	
	電気工作物保守管理・点検等手数料	1,060	1,060	
13節	清掃業務委託料	4,676	3,732	
	夜間等管理業務委託料	3,551	2,509	
	植木剪定・斜面草刈委託料	576	672	
	電線危険植木剪定委託料	0	138	
	空調機設備点検委託料	396	396	
	機械警備委託料	206	206	
	自動ドア保守点検委託料	111	111	
	害虫駆除業務委託料	55	0	
	レンジフード清掃委託料	102	0	
	グリストラップ点検委託料	26	13	
	青少年会館施設予約システム設定業務委託料	0	891	
14節	簡易印刷機賃借料	185	185	
22節	過少収納時補填金	2	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			112

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 25 図書館費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

図書館管理運営事業

【 中央図書館 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 図書等資料を収集、整理・保存して市民等の利用に供し、市民等の教養、調査、研究及びレクリエーション等に資するため。

効果 市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上を目指すとともに、調査・研究等に活用されること。

【 事業の内容 】

- ・ 効果的な資料収集を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市民等のニーズに則した貸出業務、インターネット予約受付などを実施した。
- ・ 図書館業務に必要な会計年度任用職員の配置と諮問機関としての図書館協議会の運営を図った。
- ・ 図書館施設の維持管理を行った。
- ・ 中央図書館の耐震改修工事を行った。
- ・ 中央図書館空調機器修繕については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,177	160,079	129,412	19,580	11,087
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	図書館協議会委員報酬 4人	126	126	
8節	資料提供等謝礼	20	0	
9節	会計年度任用職員費用弁償	63	18	
11節	資料整理文具等消耗品費	1,964	2,132	
	ブックスタート図書等消耗品費	1,056	1,046	
	一般図書資料等消耗品費	25,375	25,351	
	燃料費	1,044	1,213	
	図書館光熱水費	5,146	4,248	
	各所修繕料	1,220	1,125	
	鎌倉市中央図書館屋上送風機(排気)取替修繕料	0	1,299	
	中央図書館空調機器修繕料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	備品修繕料	110	0	
	車両修繕料	102	86	
12節	電信料	1,793	1,742	
	運搬料	81	116	
	エレベーター(1号機)保守点検手数料	514	513	
	多目的エレベーター(2号機)保守点検手数料	515	515	
	自家用電気工作物保守点検等手数料	540	540	
	おはなしボランティア等保険料	83	82	
13節	廃棄図書処理委託料	55	55	

中央図書館等巡回業務委託料	3,917	3,335
複写機保守委託料	244	119
各種水槽清掃業務委託料	121	121
ボイラー清掃等業務委託料	359	355
冷却塔清掃等業務委託料	117	99
電動書架保守点検業務委託料	237	236
冷凍機保守点検業務委託料	463	88
自動ドア保守点検業務委託料	101	99
総合警備業務委託料	98	98
総合管理業務委託料	9,293	9,293
設備等保守管理業務委託料	478	396
学校搬送業務委託料	286	285
「鎌倉郡二階堂村切図」補修及びデジタル化業務委託料	389	389
「柏尾川関係資料」補修及びデジタル化業務委託料	205	205
「田辺松坡関係資料」補修及びデジタル化業務委託料	492	492
中央図書館耐震改修工事監理業務委託料	5,599	1,760
中央図書館No. 1冷凍機冷媒回収業務委託料	0	119
鎌倉市中央図書館各階天井等アスベスト調査分析業務委託料	0	352
14節 複写機賃借料	55	55
インターネット機器賃借料	517	493
有料データベース使用料	796	796
書誌情報データ使用料	790	790
図書館システム機器賃借料	19,107	19,107
15節 中央図書館耐震改修工事請負費	49,885	45,100
18節 「鎌倉郡二階堂村切図」備品購入費	275	275
19節 日本図書館協会会費等負担金	86	86
25節 図書館振興基金利子積立金	10	1
図書館振興基金寄附等積立金	4,450	4,655
27節 自動車重量税	0	6

<主な特定財源>

・国県支出金	472
・地方債	43,900

令和3年度中央図書館事業実施状況

令和3年度(2021年度)購入した資料	17,380点		
令和3年度(2021年度)寄贈を受けた資料	9,671点		
令和3年度(2021年度)廃棄した資料	29,099点	所蔵資料数	638,208点

・貸出利用状況

施設名等	貸出登録者	貸出利用者	貸出資料数	予約受付件数
中央図書館	27,187人	延112,085人	350,989冊(点)	28,481件
腰越図書館	9,444人	延63,431人	222,783冊(点)	17,626件
深沢図書館	11,523人	延74,038人	252,418冊(点)	16,452件
大船図書館	16,797人	延103,429人	330,132冊(点)	19,147件
玉縄図書館	10,649人	延62,957人	207,184冊(点)	15,311件
WEB				363,595件
小計	75,600人	延415,940人	1,363,506冊(点)	460,612件
学校等貸出	小17、中2、他12	小17、中2、他9	368パック	

・その他の業務

施設名	資料相談件数	複写サービス
中央図書館	22,748件	28,096枚
腰越図書館	15,769件	2,351枚
深沢図書館	14,167件	3,877枚
大船図書館	15,152件	4,315枚
玉縄図書館	13,539件	2,440枚
合計	81,375件	41,079枚

・視聴覚ライブラリーの使用

貸出資料数	
16mmフィルム	5点
デージー(視覚障害者用DVD)	126点
貸出機器数	
	4点

・行事实施状況

行事等	実施回数	参加人数
おはなし会	10回	36人
ブックスタート	21回	1,484人
ブックスタートフォローアップ	16回	32人
展示会等	21回	1,551人

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 30 博物館費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉国宝館管理運営事業

生涯学習課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
 分野 歴史環境
 施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えるとともに、調査・研究、展示をと
 おして市民等の利用に供するため。

効果 現在国宝5件43点、重文75件872点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超
 える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 北条義時展等の特別展・平常展を開催し、また、関係図書を出版・頒布して市民等の利用に
 供した。
- ・ 収蔵資料を良好な環境の下で保存管理した。
- ・ 鎌倉国宝館の適切な維持管理を行った。
- ・ 鎌倉国宝館を円滑に運営するため鎌倉国宝館協議会を開催した。
- ・ 公益財団法人氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るため補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,134	54,613	49,523		5,090
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	鎌倉国宝館協議会委員報酬 6人	124	122	
	非常勤特別職員報酬 1人	1,800	1,800	
8節	寄託等謝礼	250	142	
	特別展等謝礼	100	99	
	収蔵品整理アシスタント謝礼	200	138	
9節	非常勤特別職員・学芸嘱託員費用弁償	182	144	
11節	消耗品費	1,485	1,268	
	観覧券・ポスター・図録等印刷製本費	2,300	957	
	国宝館光熱水費	9,120	10,147	
	各所修繕料	7,148	3,740	
	鎌倉国宝館本館天窗遮光修繕料	528	528	
12節	電信料	507	231	
	美術品運搬料	393	389	
	広告料	149	149	
	消防設備点検手数料	500	499	
	昇降機保守検査手数料	620	620	
	自家用電気工作物保安業務手数料	217	217	
	建物総合損害共済等保険料	27	23	
13節	展示補助業務委託料	350	382	
	展示案内看板・懸垂幕製作業務委託料	196	261	
	資料撮影業務委託料	165	165	
	空調設備自動制御機器保守点検業務委託料	1,276	1,254	

	空調設備保守点検業務委託料	499	499
	害虫駆除業務委託料	33	0
	機械警備業務委託料	259	259
	総合管理業務委託料	18,433	15,411
	植木剪定業務委託料	99	99
	啓発物デザイン業務委託料	627	814
	電子複写機保守点検業務委託料	473	94
14節	土地賃借料	8,437	8,436
	ソフトウェア等使用料	100	100
19節	県博物館協会負担金	17	17
	氏家浮世絵コレクション補助金	519	519
22節	過少収納時補てん金	1	0

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 30 博物館費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉歴史文化交流館管理運営事業

生涯学習課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史及び文化に関する展示や教育普及事業の実施により、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるとともに、交流の場の提供により市民の交流を促進するため。

効果 市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 北条義時展等の鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に関する展示を行った。
- ・ 講座、体験学習、交流イベント等を企画・立案・実施した。
- ・ 鎌倉歴史文化交流館等の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
58,784	50,207	46,702		3,505
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	非常勤特別職員報酬 1人		1,800	1,800
8節	講座講師等謝礼等		60	28
9節	非常勤特別職員費用弁償		170	157
11節	消耗品費		2,668	2,388
	印刷製本費		3,213	2,718
	光熱水費		5,550	5,350
	各所修繕料		3,422	1,723
	備品修繕料		10	0
	医薬材料費		10	9
12節	電信料		850	739
	運搬料		706	1,107
	広告料		149	139
	自家用電気工作物保守点検等手数料		246	195
	建物総合損害共済等保険料		22	21
13節	総合管理等業務委託料		29,580	23,938
	機械警備業務委託料		458	458
	庭園管理等業務委託料		4,200	2,558
	普及啓発促進等業務委託料		1,072	1,439
	館内燻蒸業務委託料		4,048	1,518
	害虫駆除業務委託料		33	0
	電子複写機保守点検業務委託料		473	417
14節	展示資料等使用料		44	0

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 35 文学館費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

文学館管理運営事業

【 文化課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 文化
施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 観覧や教養及び調査・研究に資するため。

効果 鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 指定管理者制度により、文学館の効率的な管理運営を行った。
- ・ 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
76,505	76,505	75,773		732
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	維持修繕料		4,067	3,006
13節	文学館指定管理料		71,444	71,444
	危険木伐採業務委託料		994	839
	ナラ枯れ危険木伐採委託料		0	484

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 35 文学館費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

文学館大規模修繕事業

【 文化課 】

※重点事業(事業CD:2-2-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 文化

施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 老朽化が進む鎌倉文学館の大規模修繕を行い、施設・設備の機能を維持するため。

効果 来館者の安全を確保するとともに、歴史的な建築物を恒久的に保存を図る。

【 事業の内容 】

・文学館の劣化調査診断を行い、大規模修繕計画の一部を立案した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,080	18,080	14,256		3,824

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 文学館改修工法等検討委員会専門家謝礼

260 0

13節 文学館劣化調査診断等委託料

17,820 14,256

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

保健体育運営事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 活動団体への指導・援助や、関係団体との協調を図るため

効果 スポーツ・レクリエーション活動の支援を図る

【 事業の内容 】

- ・ 関係団体への指導・援助の充実や、団体の組織化や連携を強化した。
- ・ スポーツの分野で活躍する子どもたちを支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,438	8,460	7,410		1,050
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	スポーツ推進審議会委員報酬 7人		144	72
	スポーツ推進委員報酬 63人		3,021	2,922
8節	国体等出場者祝金等報償費		535	457
9節	県スポーツ推進委員大会等費用弁償		44	17
11節	燃料費		189	148
	車両修繕料		108	130
19節	県スポーツ推進委員連合会等分担金		45	40
	体育協会補助金		3,095	2,911
	レクリエーション協会補助金		177	177
	総合型地域スポーツクラブ創設支援補助金		1,080	536

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費

◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

各種スポーツ行事事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 スポーツ・レクリエーション

施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため。

効果 市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
- ・ 市民の体力づくりや健康の増進、地域コミュニティの活性化を図った。
- ・ オリンピック・パラリンピックの機運を醸成するため、セーリングやサーフィンをはじめとした様々なマリンスポーツの普及・促進を図った。
- ・ ジュニアアスリート等の育成・支援や市民の競技力向上を図った。
- ・ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)を開催するための連絡調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,957	11,651	9,492		2,159
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	オリンピック等強化指定選手奨励金		2,400	0
	贈呈用花束等		0	63
11節	消耗品費		25	23
	医薬材料費		10	6
13節	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事委託料		4,386	4,385
	競技スポーツ推進事業委託料		1,263	611
	ジュニアアスリート育成事業委託料		1,364	745
	オンライン双方向運動プログラム事業委託料		2,169	2,169
19節	鎌倉海の魅力発信事業実行委員会負担金		1,350	1,331
	ねんりんピック実行委員会負担金		990	159
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,169

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費

◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

学校体育施設開放事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 スポーツ・レクリエーション

施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため。

効果 市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の学校の体育館・校庭・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,804	33,088	32,207		881
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	学校体育施設開放消耗品費		605	1,678
	夜間照明設備等修繕料		1,212	898
	七里ガ浜小学校プール更衣室外壁修繕料		295	294
	備品修繕料		50	0
	医薬材料費		14	12
12節	毛布クリーニング手数料		9	0
13節	学校体育施設開放運営協議会業務委託料		386	386
	学校水泳プール一般開放監視等業務委託料		24,859	24,858
	夜間照明設備保守点検業務委託料		299	299
	学校開放備品類廃棄処分委託料		75	75
	学校水泳プール水槽清掃業務委託料		0	3,608
14節	市立小学校プールAED貸借料		0	99
<主な特定財源>				
	・国県支出金			917

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
健康福祉部スポーツ課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	53,702	52,342
・ 2節 給料 一般職	23,653	23,422
一般職職員 5人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	21,410	20,267
扶養手当	1,294	812
地域手当	3,891	3,783
通勤手当	794	421
超過勤務手当	2,132	2,502
休日給	85	111
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	10,787	10,058
住居手当	840	993
児童手当	600	600
・ 4節 共済費	8,639	8,653
市町村職員共済組合負担金	8,089	8,069
社会保険料	519	523
雇用保険料	31	61

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
健康福祉部スポーツ課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	6,519	6,048
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	4,597	4,587
会計年度事務補助職員 2人		
スポーツ施設管理職員 2人		
・ 3節 職員手当等	976	917
期末手当		
・ 4節 共済費	322	323
社会保険料	304	292
雇用保険料	18	31
・ 9節 旅費	624	221
費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 10 体育施設費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

体育施設管理運営事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため。

効果 スポーツ施設の適切な管理運営等を行い、より多くの市民等の利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。
- ・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。
- ・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。
- ・鎌倉海浜公園水泳プール修繕業務は年度内で完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
249,966	326,053	249,517	47,300	29,236
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	2,267	2,263	
	燃料費	52	50	
	光熱水費	13,714	15,112	
	スポーツ施設各所修繕料	5,000	3,313	
	鎌倉海浜公園水泳プール水槽一部塗装修繕料	1,294	0	
	海浜公園プール立入防止柵(アルミ)修繕料	1,088	0	
	海浜公園プール立入防止柵(メッシュ)修繕料	805	0	
	海浜公園プール放送設備修繕料	139	0	
	鎌倉海浜公園水泳プール修繕料	0	3,324	
	こもれび山崎温水プール修繕料	57,585	57,585	
	指定管理4館維持修繕料	13,090	21,062	
	鎌倉武道館空調設備修繕料	21,340	8,360	
	備品修繕料	554	637	
12節	スポーツ施設予約システムインターネット利用等電信料	890	863	
	鎌倉海浜公園水泳プール電気設備保守点検等手数料	166	165	
	スポーツ施設火災保険料	399	399	
13節	鎌倉海浜公園水泳プール機械警備業務委託料	388	388	
	鎌倉海浜公園水泳プール管理及び監視等業務委託料	22,500	0	
	鎌倉海浜公園水泳プール自動券売機保守点検業務委託料	49	0	
	鎌倉海浜公園水泳プールろ過機等保守点検業務委託料	260	0	
	鎌倉海浜公園水泳プール水槽清掃業務委託料	451	0	
	鎌倉海浜公園水泳プール監視等業務委託料	0	23,254	

	鎌倉海浜公園水泳プール修繕業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	スポーツ施設指定管理料	76,020	76,020
	西御門テニスコート管理業務委託料	4,138	4,138
	電化製品回収・処理業務委託料	150	98
	スポーツ施設植栽等管理業務委託料	275	242
14節	西御門テニスコート土地賃借料	3,026	3,445
	鎌倉海浜公園水泳プール更衣室棟・監視棟賃借料	10,000	0
	鎌倉海浜公園水泳プールのトイレ賃借料	669	0
	鎌倉海浜公園水泳プール更衣室棟等賃借料	0	10,667
	スポーツ施設予約システム機器等賃借料	1,789	1,789
	鎌倉武道館駐車管制機器賃借料	2,018	2,018
	ウォーターサーバー等賃借料	233	0
	鎌倉海浜公園水泳プールMCA無線機器賃借料	0	36
18節	西御門テニスコート用テント備品購入費	112	0
19節	県市町村電子自治体共同運営協議会負担金	2,906	2,906
	指定管理者リスク分担金	944	898
	鎌倉市スポーツ施設の閉館時間短縮に伴う営業補償金	0	3,844
25節	スポーツ施設建設基金利子積立金	55	3
	スポーツ施設建設基金寄附等積立金	5,600	6,638

<主な特定財源>

・地方債

73,100

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 5 元金

◎行財政運営 ○行財政運営

元金償還金

【 財政課 】

【 事業の内容 】

- ・ 長期債に係る元金償還金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,852,509	3,836,000	3,835,999		1

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
23節	財政融資資金償還金	1,985,376	1,968,526
	地方公共団体金融機構償還金	337,094	337,434
	旧郵政公社資金償還金	432,644	432,644
	全国市有物件災害共済会償還金	46,004	46,004
	神奈川県市町村振興協会償還金	343,368	343,368
	神奈川県償還金	68,694	68,694
	市中銀行等償還金	601,592	601,592
	神奈川県市町村職員共済組合償還金	37,737	37,737

令和3年度借入状況(借入先別)

借入先	借入額
財政融資資金	218,700
地方公共団体金融機構	178,000
全国市有物件災害共済会	67,400
神奈川県市町村振興協会	411,000
神奈川県	342,100
神奈川県市町村職員共済組合	43,100
合 計	1,260,300

令和3年度借入状況(事業別)

事業名	借入額
本庁舎等施設整備事業	122,800
緊急防災基盤整備事業	148,200
社会福祉施設整備事業	107,300
農道整備事業	5,300
道路整備事業	289,500
都市計画事業	76,100
防災対策事業	113,300
河川整備事業	7,400
消防施設整備事業	67,400
義務教育施設整備事業	178,300
社会教育施設整備事業	117,000
史跡保存事業	27,700
合 計	1,260,300

2年度末残高	3年度償還額	3年度借入額	3年度末現在高
33,423,338	3,835,999	1,260,300	30,847,639

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 10 利子

◎行財政運営 ○行財政運営

支払利子

【 財政課 】

【 事業の内容 】

・長期債償還に伴う利子を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
189,719	178,000	177,754		246
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
23節	財政融資資金利子	107,072	106,252	
	地方公共団体金融機構利子	12,759	12,007	
	旧郵政公社資金利子	6,645	6,645	
	全国市有物件災害共済会利子	369	9	
	神奈川県市町村振興協会利子	19,914	17,290	
	神奈川県利子	5,766	5,324	
	市中銀行等利子	36,904	30,172	
	神奈川県市町村職員共済組合利子	290	55	

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 10 利子

◎行財政運営 ○行財政運営

借入金等利子

【 財政課 】

【 事業の内容 】

- ・ 基金の繰替運用に伴う利子を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28	28	14		14
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
23節 一時借入金等利子				28 14

(款) 65 諸支出金 (項) 5 土地開発公社費 (目) 5 土地開発公社費

◎行財政運営 ○行財政運営

利子負担金

【 公的不動産活用課 】

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市土地開発公社の健全経営のため、公社借入金に対する利子の負担を行うものだが、利子の負担はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,815	0	0		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市土地開発公社利子負担金

2,815 0

(款) 65 諸支出金 (項) 5 土地開発公社費 (目) 5 土地開発公社費

◎行財政運営 ○行財政運営

貸付金

【 財政課 】

【 事業の内容 】

・鎌倉市土地開発公社の健全経営のための貸付けが必要なかったため、実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000	10,000	0		10,000

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

21節 鎌倉市土地開発公社貸付金

10,000

0